



昭和大学

臨床研修薬剤師 (旧 薬剤師レジデント)

臨床薬剤師研修制度 ～2年間で育てる 臨床教育プログラム～

昭和大学は東京都、神奈川県に計8つの附属病院を有し、協働して臨床薬剤師研修プログラムを提供しています。2015年度以降は**20名以上**の研修薬剤師が入职し、全国最大規模に成長しました。臨床経験豊富な私たちが、皆さんの成長をサポートします！

ジェネラリストとして標準的な薬物治療を修得

2019年度より2年制とし、複数の病院、複数の診療科で研修し、薬物療法全般にわたりジェネラリストとしての素養を育みます。同期となる臨床研修薬剤師同士が協力して疾患ごとの標準的な薬物治療計画書（マスター-SOAP）の作成、e-Learning、症例検討に参加します。

充実したサポート体制

昭和大学は8病院で約150名の薬剤師がおり、うち80名以上が教育職員です。業務（臨床）、教育、研究の3本柱を自分たちのミッションとしており、臨床薬剤師の教育を担っています。

入职後は、全員にメンター（生活面のサポート）、プリセプター（指導薬剤師）がつき、成長を支援します。

チーム医療を基盤とした薬学的関わり

昭和大学は、大学1年次に医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部（看護）が寮で共同生活し、その後も部活動や学部横断型の授業を通じてチーム医療教育を行っています。このため、入职後も職種の垣根がなく、多職種協働で医療を提供する環境が整っています。

評価項目

薬剤師に必要とされる臨床能力を薬学部から一貫したコンピテンシーとして掲げ、その能力を評価し、フィードバックします。『コンピテンシーのルーブリック評価』、『ポートフォリオ』、『症例検討会』、『成果報告会』など様々な角度からフィードバックし、研修薬剤師の成長を支援します。

研修スケジュール

1年目は内科系、外科系、腫瘍系の3領域の病棟をローテーションします。

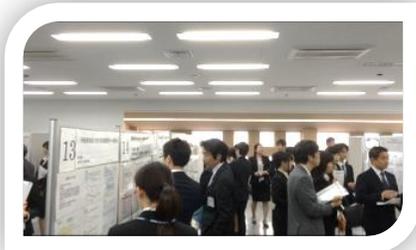
2年目はさらに専門薬剤師の基礎を育成することを旨とし、臨床能力を高めます。

募集用資料



病棟業務

複数の診療科・病棟で研修します。多職種と協働して薬物治療を管理・設計します。



成果報告会

年度末に行う成果報告会は、さながら学会の雰囲気です。薬剤師だけでなく、入职を考えている薬学生や大学教員も多数参加します。



修了式

—お問い合わせ—

昭和大学 臨床研修薬剤師 係

p-resident@cmed.showa-u.ac.jp

病院見学を希望される方は、右記アドレスへメールにてご連絡ください。

年次	PGY 1				PGY 2
研修施設	病院 A				病院 A or B
主な研修部署	センター	病棟 1	病棟 2	病棟 3	病棟 4
研修内容	調剤・製剤・DI・注射 腫瘍センター	内科系	外科系	がん	1領域 + 選択必修 緩和ケア、小児、精神領域、 救急、学外研修